



2026年6月10日

株主各位

会社名 ウィルソン・ラーニング ワールドワイド株式会社
代表者名 代表取締役社長 根岸 正州
(東証スタンダード コード: 9610)
問合せ先 執行役員 コーポレート本部 本部長 渡壁 淳司
電話番号 03-6381-0234

招集通知記載事項の一部訂正について

当社「第45回定時株主総会招集ご通知」の交付書面の記載事項の一部に訂正すべき点がございましたので、謹んでお詫び申し上げますとともに下記のとおり訂正のご連絡をさせていただきます。

記

【訂正箇所】（下線部は訂正箇所を示します）

交付書面 11 ページ

(4) 対処すべき課題

継続企業の前提に関する重要事象等

修正箇所	修正前	修正後
本文1行目 ～11行目	<p>2020年3月期以降売上高が著しく減少し、 2022年3月期までは重要な営業損失、経常損失、親会社株主に帰属する当期純損失及び重要なマイナスの営業キャッシュ・フローを計上しました。2023年3月期においては、営業利益及び経常利益を計上し当社グループの業績は改善傾向にありましたが、継続して親会社株主に帰属する当期純損失を計上しました。2024年3月期においては、日本の国内HRD事業売上高は2023年3月期より回復傾向にありましたが、全体的には減少傾向であり、重要な営業損失556,468千円、経常損失521,085千円、親会社株主に帰属する当期純損失518,700千円、マイナスの営業キャッシュ・フロー445,838千円を計上しました。前連結会計年度においては2024年3月期に比べ、グループの構造改革をより一層進め、全体的には売上高は横ばい傾向ながらも、販管費の圧縮に努め、その削減効果も出ておりますが、重要な営業損失393,918千円、経常損失385,372千円、親会社株主に帰属する当期純損失386,041千円、マイナスの営業キャッシュ・フロー348,282千円を計上しました。</p>	<p>前連結会計年度においては、営業損失 393,918千円、経常損失 385,372千円、親会社株主に帰属する当期純損失 386,041千円、マイナスの営業キャッシュ・フロー348,282千円を計上しました。</p>

連結注記表

1. 継続企業の前提に関する注記

修正箇所	修正前	修正後
本文 1 行目 ～11 行目	<p>2020年3月期以降売上高が著しく減少し、 2022年3月期までは重要な営業損失、経常損失、親会社株主に帰属する当期純損失及び重要なマイナスの営業キャッシュ・フローを計上しました。2023年3月期においては、営業利益及び経常利益を計上し当社グループの業績は改善傾向にありましたが、継続して親会社株主に帰属する当期純損失を計上しました。2024年3月期においては、日本の国内HRD事業売上高は2023年3月期より回復傾向にありましたが、全体的には減少傾向であり、重要な営業損失556,468千円、経常損失521,085千円、親会社株主に帰属する当期純損失518,700千円、マイナスの営業キャッシュ・フロー445,838千円を計上しました。前連結会計年度においては2024年3月期に比べ、グループの構造改革をより一層進め、全体的には売上高は横ばい傾向ながらも、販管費の圧縮に努め、その削減効果も出ておりますが、重要な営業損失 393,918 千円、経常損失 385,372 千円、親会社株主に帰属する当期純損失 386,041 千円、マイナスの営業キャッシュ・フロー348,282 千円を計上しました。</p>	<p>前連結会計年度においては、営業損失 393,918 千円、経常損失 385,372 千円、親会社株主に帰属する当期純損失 386,041 千円、マイナスの営業キャッシュ・フロー348,282 千円を計上しました。</p>

以上